

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（研究）

名古屋大学国際開発研究科

	頁数・行数等	誤	正
1	10-5頁・ 4～5行	第2期期間中に教員が刊行した研究論文は <u>229</u> 編、著書は <u>145</u> 冊、学会報告は <u>383</u> 件である。	第2期期間中に教員が刊行した研究論文は <u>225</u> 編、著書は <u>141</u> 冊、学会報告は <u>392</u> 件である。
2	10-5頁・ 資料1-1 H26年度の論文数	<u>39</u>	<u>36</u>
3	10-5頁・ 資料1-1 H26年度の著書数	<u>25</u>	<u>21</u>
4	10-5頁・ 資料1-1 H26年度の学会報告数	<u>63</u>	<u>64</u>
5	10-5頁・ 資料1-1 H27年度の論文数	<u>31</u>	<u>30</u>
6	10-5頁・ 資料1-1 H27年度の著書数	<u>22</u>	<u>20</u>
7	10-5頁・ 資料1-1 H27年度の学会報告数	<u>68</u>	<u>66</u>
8	10-5頁・ 資料1-1 合計欄の論文数	<u>229</u>	<u>225</u>
9	10-5頁・ 資料1-1 合計欄の著書数	<u>147</u>	<u>141</u>

	頁数・行数等	誤	正
10	10-5 頁・ 資料 1-1 合計欄の学会報告 数	<u>393</u>	<u>392</u>
11	10-5 頁・ 資料 1-1 出典	出典：国際開発研究科自己評価報告書 (2014)、p.103	出典：国際開発研究科自己評価報告書 (2015)、p.101
12	10-8 頁・ 8～9 行	・・・民間の競争的資金の獲得状況は 【資料 I - 7】に示すとおり <u>15</u> 件あ り、・・・	・・・民間の競争的資金の獲得状況は 【資料 I - 7】に示すとおり <u>16</u> 件あ り、・・・
13	10-10 頁・ 3 行	<u>平</u> 26 年度から科研費の間接経費を戦 略的に使用するため、・・・	<u>平成</u> 26 年度から科研費の間接経費を 戦略的に使用するため、・・・
14	10-15 頁・ 6 行	・・・第 2 期期間に獲得した外部資金 は <u>15</u> 件である。	・・・第 2 期期間に獲得した外部資金 は <u>16</u> 件である。
15	10-17 頁・ 5～6 行	教員の研究業績に関しては論文、著 書、学会報告の合計本数は第 1 期 570、 第 2 期 <u>726</u> で、第 2 期が大幅に上回っ ている・・・	教員の研究業績に関しては論文、著 書、学会報告の合計本数は第 1 期 570、 第 2 期 <u>758</u> で、第 2 期が大幅に上回っ ている
16	10-17 頁・ 9 行	民間外部資金獲得は、第 1 期 9 件、 第 2 期 <u>15</u> 件で、第 2 期が大きく上回っ ている・・・	民間外部資金獲得は、第 1 期 9 件、 第 2 期 <u>16</u> 件で、第 2 期が大きく上回っ ている・・・
17	10-17 頁・ 34～35 行	・・・第 1 期 570 に比して第 2 期 <u>726</u> で、第 2 期が大幅に上回っていて・・・	・・・第 1 期 570 に比して第 2 期 <u>758</u> で、第 2 期が大幅に上回っていて・・・